

QVCマリンフィールドの被害状況

QVCマリンフィールド(千葉マリンスタジアム)は東京湾に面した埋立地に整備された県立幕張海浜公園に立地しており、東日本大地震の際には、建物が大きく揺さぶられ、屋根接合部や夜間照明架台、外壁タイルの破損などの大きな被害を受けた。また、照明機器の角度が変化してグラウンド上での適切な照度が確保できなくなったほか、建物外周部のインターロッキング舗装などが破損した。

そこで、平成23年3月27日に、補正予算を組み、4月12日のプロ野球開幕までに間に合うよう、試合開催や観客の安全性を確保するために必要な部分について修繕を行った。開幕までにできなかった部分や、その後に判明した被害については、プロ野球のシーズン終了後に修繕を実施した。



①屋根接合部破損状況



①屋根接合部及び
②夜間照明修繕状況



②夜間照明状況
(照射角度変化)

①屋根接合部破損状況



③インターロッキングブロック舗装破損



④外壁タイル破損(クラック、剥離)修理状況

(3) 台風15号による護岸道路復旧工事への影響

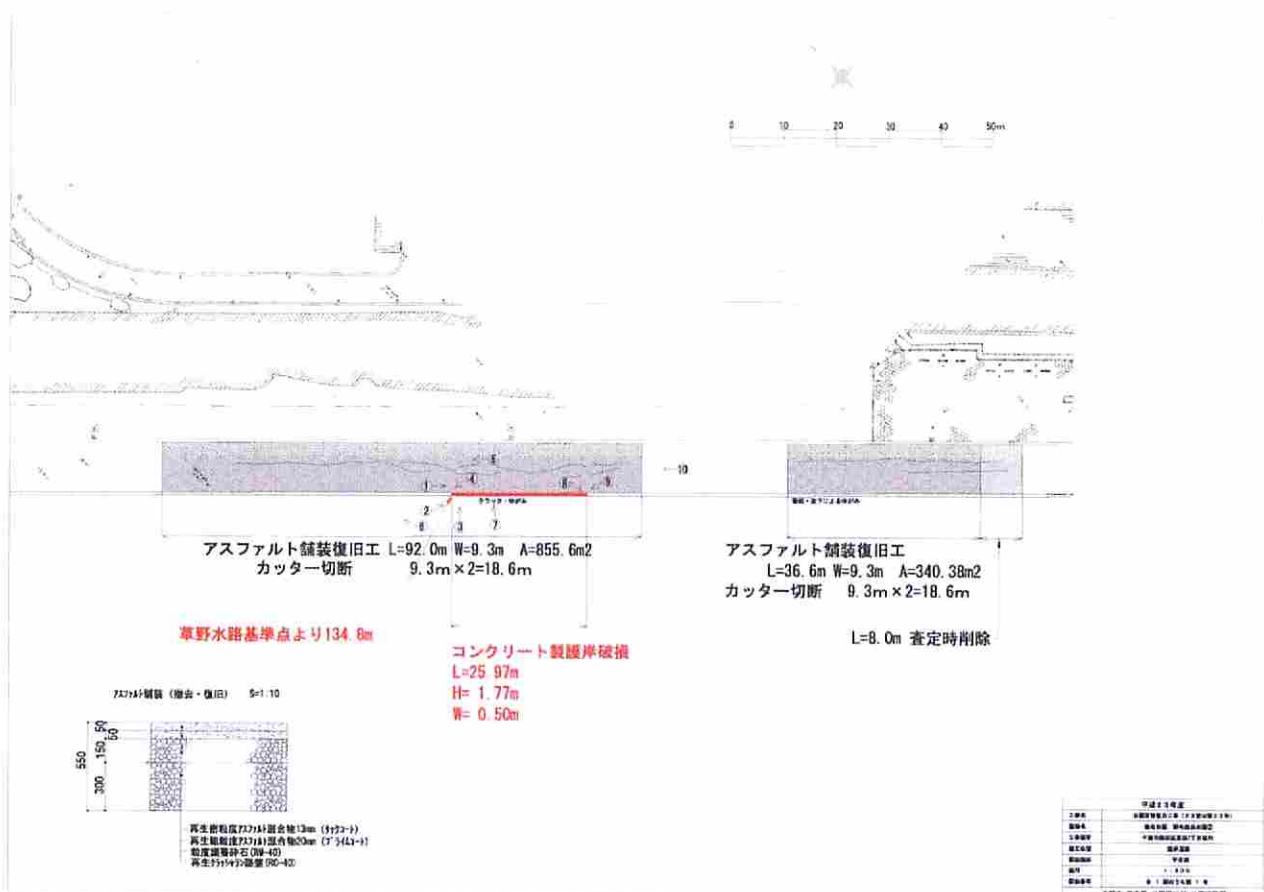
稲毛海浜公園護岸道路災害復旧工事(東京寄り)は、稲毛海浜公園内の災害復旧工事で多くの工事車両の資材搬入路として使用予定のため、工事は災害復旧工事では最後の11月発注を予定していた。

ところが、平成23年9月21日の台風15号による強風と高波により、護岸道路の東京湾側を支える千葉県管理の港湾施設である「護岸」が26mに渡り倒壊した。

護岸の損壊により、護岸道路を支える壁がなくなったため、施設管理者である千葉県千葉港湾事務所と直ちに、護岸の復旧事業について調整した。

千葉港湾事務所は、国土交通省に災害復旧補助申請を行い、平成23年12月に国土交通省港湾局海岸・防災課の査定を受け、平成24年3月に護岸は復旧した。

その後、護岸のコンクリート強度の着き待ち、平成24年5月から護岸道路の災害復旧工事に着手し、平成24年7月に竣工させ、「東日本大震災による公園災害復旧工事」は全てが完了した。



稲毛海浜公園護岸道路(東京寄り)、舗装復旧図と護岸破損部分



台風の高波により、護岸が26mに渡り、損壊した。



舗装復旧工事を実施予定であった、護岸道路の路盤が波で流失した。

(4) 成功認定

成功認定は、通常の補助事業の完了検査に当たるもので、復旧事業の竣工翌年度に現場を直接確認する「実地検査」と、室内で契約書類・支払調書等を確認する「書類検査」に分かれて実施された。

検査は、都市災害復旧事業として公園と同じ補助事業に採択された、建設局道路災害復旧事業のJR検見川浜駅前広場災害復旧工事と一緒に実施した。

対象事業は、平成23年度に竣工した13件の工事で、美浜区役所会議室を検査会場として2日間に渡り実施され、「工事書類・支払関係書類共に整理され、また現場も査定申請どおりに復旧されており問題ない」との講評であった。

期間	検査官		検査内容
H24.6.28 ～	【検査官】 国土交通事務官(国土交通省 都市局 都市安全課)	1名	災害復旧工事 全19件の内、13件を検査
H24.6.29	国土交通技官 (国土交通省 都市局 都市安全課)	1名	



書類検査(契約書類説明)



実地検査(北磯辺公園)
雨水管・アスファルト舗装・縁石復旧説明



実地検査(打瀬3丁目公園)
カラーアスファルト舗装・平板舗装復旧説明



実地検査(稲毛海浜公園 花の美術館)
建物入口部段差解消復旧説明

【 被 災 箇 所 の 復 旧 工 事 完 了 後 の 状 況 写 真 】

公園施設 被災状況写真 [花見川緑地 (打瀬2丁目)]

被災直後 (H23. 3月撮影)

復旧後 (H24. 7月撮影)



沈下・亀裂・液状化【交通公園アスファルト舗装園路】



沈下・亀裂・液状化【交通公園インターロッキングブロック舗装広場】



沈下・亀裂・液状化【芝生広場】

公園施設 被災状況写真 [稲毛海浜公園 花の美術館 (高浜7丁目)]



沈下・亀裂・液状化【美術館前レンガ舗装広場・噴水池破損】

東日本大震災千葉県災害記録誌
(公園災害復旧編)

平成25年3月

発行 千葉県

千葉県都市局 公園緑地部 公園管理課
公園建設課

〒260-8722 千葉県中央区千葉港1-1

TEL 043-245-5778

043-245-5783